

令和3年度 大阪府 地震・津波災害対策訓練概要

目的	災害対処能力の向上			災害想定	南海トラフ巨大地震を想定（休日）の午前中に地震発生） 震源地：和歌山県沖、M9.1、府域最大震度：6強	
日時	令和4年 1月17日（月）9:30～16:00					
重点	◇ 発災直後 の府庁全体の初動対処訓練（安否確認、災害対策本部会議準備など） ◇ 発災2日後 におけるコロナ禍、複合災害が懸念される中の 応急災害対策実施 発災時の各々の行動・初動体制構築の徹底・確実な情報収集・防災協定の実行性の確保			参加機関等 (順不同)	大阪府、府内43市町村、大阪市消防局、大阪府警察、陸上自衛隊第3師団、自衛隊大阪地方協力本部、海上保安庁大阪海上保安監部、日本赤十字社大阪府支部、一般社団法人大阪府トラック協会、株式会社奥村機械、株式会社ウォーターネット、日本BCP株式会社、ヒラオカ石油株式会社、基本協定締結各ホテル、社会福祉法人大阪府社会福祉協議会、おおさか災害支援ネットワーク、日産大阪販売株式会社	
	時間	訓練目標・狙い	知事、副知事		各部署	災害対策本部事務局
初動対処訓練	09:30 (発災後1時間以内参集可能職員)	発災直後、参集から、全庁職員が定められた手順に基づき初動対処ができること	◇初動対応訓練（職員参集・安否確認システム） ◇各部署計画による訓練 第1回災害対策本部会議（11:00～11:30） 一知事からのメッセージ 一堺市長からの緊急報告 一地震の概要報告 一各部署からの報告（都市整備部、健康医療部等） 一本部長（知事）から本部員への対応指示	◇災害対策本部事務局の初動対応訓練 □全般 事務局要員（危機管理室公舎待機幹部職員・近傍に居住する危機管理室職員・緊急防災推進員）による初動対応訓練 □訓練内容 ◇ 災对本部事務局設置・運用訓練 →参集訓練 →危機管理センターAに参集（コロナ禍を考慮：手指消毒、換気） →災对本部会議室事務局設営・情報収集訓練 ◇ 訓練の振り返り ※平行して緊急消防援助隊調整本部訓練（マニュアル検証）実施	○北部拠点から救援物資をトラック協会の協力で市町村に搬送する実動訓練 ①北部拠点⇒茨木市物資集積所 ②北部拠点⇒吹田市物資集積所 ③北部拠点⇒箕面市物資集積所	
	13:00 (全員参加)	発災2日後の市町村からの要請にこたえるため、庁内調整しつつ、国、関係機関等との 具体的な調整を行うこと	各部署 ・部局ごとに立案した訓練を実施 ※事務局訓練と連携する部局：部局ごとの課題について訓練間に業務調整を実施	災害対策本部事務局訓練【図上訓練、一部実動含む】 目的 発災後、コロナ禍、2日経過した段階における①市町村の支援、②タイムライン（フェーズ3以降）に基づく 応急対策業務の具体化 、③ 関係機関との連携 して訓練し、災害対処能力の向上を図る。 訓練内容 ◇市町村の支援 ・市町村からの要望（人的・物的支援）を受け、業務調整 ・防災協定の活用（連絡・物資提供）調整等 ・ホテル協定に基づき、施設、負傷者の確認、受入可能人数の確認、職員派遣の調整等 ◇ 応急対策業務の具体化 ・各部署との連携訓練、業務継続計画（BCP）の検証等 ◇ 関係機関との連携 ・救助機関との連携訓練（「航空運用調整班の運用」を主体） 訓練参加等 ◇訓練参加：危機管理室職員、府庁内各部署関係職員 ◇訓練場所：プレーヤー（危機管理センターA、B）、コントローラー（操作室） ◇訓練統制：訓練開始に先立ち、発災から2日後の主要事項、処置事項の概要説明を実施		
振り返り	16:30 17:30	訓練の振り返りを実施し、次年度へ反映	※各部署計画の訓練の成果については、部局ごと、別途書面にて提出			